

これまでは、1時間1時間の授業、もしくは数時間の小単元レベルで日々の授業改善をおこなってきました。しかし、そのような方法では、1年間を通して生徒に身につけさせたいものは何なのかが曖昧になっていたような気がします。今回の授業改善は、本校の生徒に沿った年間カリキュラムを作成し、それを軸に単元や1時間1時間の授業の再構成を試みました。「歴史事象に関心を持ち、科学的な思考の方法を身につけることができる。」「各事象の解釈や時代の解釈を獲得することができ、歴史の見方や考え方を身につけることができる。」といった年間の目標を達成するために、室町時代の単元を構成し本授業では足利義満の肖像画を題材に、そこから①疑問を見つけ、②疑問に対し予想を立て、③資料をもとに解釈する授業を試みました。

この授業では、以下の2点をテーマに実践・研究を行いました。

- ① さまざまな武士の肖像画を用い、そこから疑問を見つけることで生徒の興味・関心を喚起する。
- ② 「なぜ」という疑問に対し、資料を用いて解釈をおこなうことで科学的な思考力の育成を目指す。

2年生 日本史B 指導と評価の年間計画（3単位）

1 目標

歴史事象に関心をもち、科学的な思考の方法を身に付けることができる。その結果、各事象の解釈や時代の解釈を獲得することができ、歴史の見方や考え方を身に付けることができる。

2 目標に向けての具体的な取り組み

- ・時代解釈や事象解釈にせまる問いを授業の中で扱う。
- ・生徒自身が探求できるよう授業を構成する。
- ・解釈にせまる思考も評価できる考査問題を作成する。

3 年間の教育目標

- ①歴史に対して興味や・関心をもつことができる
- ②事象に対して疑問をもつことができる
- ③課題に対し、予想を立てることができる。
- ④課題に対し、根拠をもとに予想を立てることができる。
- ⑤資料から知識を導くことができる。
- ⑥資料やいくつかの知識から原因・理由・結果・意義などを解釈することができる。
- ⑦異なる時代と比較して、その時代の特色を表すことができる。
- ⑧学習した出来事や人物や時代が年表のどこに位置付くかを示すことができる。
- ⑨時代解釈や事象解釈を説明することができる。

4 教育目標と単元の対応表

単元名	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
人類の誕生	○	○	○						
縄文時代	○	○	○						
弥生時代			○		○	○			
古墳時代		○	○	○					
飛鳥時代					○	○		○	○
奈良時代				○	○				
平安時代				○	○	○	○	○	○
鎌倉時代							○		
室町時代				○	○	○	○	○	○
安土桃山時代				○	○	○			
江戸時代				○	○	○			

※単元内では、①～⑨のそれぞれを意識した授業を行う。しかし、各単元で特にここは重視したいと思うものを強調して示している。

5 年間指導計画

月	単元名	主要発問	指導目標	評価方法
4月	人類の誕生 (4H) 縄文時代 (3H) 弥生時代 (3H)	<ul style="list-style-type: none"> なぜ人類はこれほどまで進化することができたのだろうか？ なぜ縄文時代は東日本に人口が偏っているのだろうか？縄文時代とはどのような時代といえるだろうか？ 縄文時代と比較すると、弥生時代はどのような時代といえるだろうか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ○人類の進化について、文化的な進化という観点から解釈することができる。 ・進化カレンダーに対して問いをもつことができる。①② ・人類がこれほどまで急激に進化し発展することができた理由に対し、予想を立てることができる。③ ○環境や気候変動に注目して、縄文時代とはどのような時代かを解釈することができる ・縄文時代の人口分布について疑問をもつことができる。①② ・縄文時代に人口が東日本に偏っている理由に対し、予想を立てることができる。③ ○環境や気候変動、遺跡などに注目して、弥生時代とはどのような時代かを解釈することができる。 ・倭の奴国王や卑弥呼が中国に使いを送った理由に対し、予想を立てることができる。③ ・資料集の諸資料や写真資料、文献資料から知識を導くことができる。⑤ ・資料やいくつかの知識から原因・理由・結果・意義などを解釈することができる。⑥ 	発問への応答 ノートの記述内容
5月	古墳時代 (10H)	<ul style="list-style-type: none"> なぜ同じ形をした古墳が広く列島へ広がっていったのだろうか？古墳時代とはどのような時代といえるだろうか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ○東アジアとの関係から、古墳時代とはどのような時代かを解釈することができる。 ・古墳の分布や大和王権が中国に使いを送った事象に対して疑問をもつことができる。② ・古墳が全国へ広がっていた理由や大和王権が中国に使いを送った理由に対し、予想を立てることができる。③ ・課題に対し、根拠をもとに予想を立てることができる。④ 	発問への応答 ノートの記述内容
6月	前期中間考査 飛鳥時代 (10H)	<ul style="list-style-type: none"> 飛鳥時代にはどのような国作りが目指されたのだろうか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ○東アジアとの関係から、飛鳥時代とはどのような時代かを解釈することができる。 ・資料集の諸資料や文献資料から知識を導くことができる。⑤ ・資料やいくつかの知識から原因・理由・結果・意義などを解釈することができる。⑥ 	定期考査 発問への応答 ノートの記述内容

			<ul style="list-style-type: none"> ・学習した出来事や人物や時代が年表のどこに位置付くかを示すことができる。⑧ ・時代解釈や事象解釈を説明することができる。⑨ 	
7月	奈良時代 (10H)	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜ、聖武天皇は大仏を造ることができたのだから？奈良時代とはどのような時代といえるだろうか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ○律令制度や周辺の事象をもとに、奈良時代とはどのような時代かを解釈することができる。 ・平城京が造られた理由や、長屋王の変の背景、大仏建立の理由などの課題に対し、根拠をもとに予想を立てることができる。④ ・資料集の諸資料や文献資料から知識を導くことができる。⑤ ・資料やいくつかの知識から原因・理由・結果・意義などを解釈することができる。⑥ 	発問への応答 ノートの記述内容
8月				
9月	平安時代 (10H)	<ul style="list-style-type: none"> ・奈良時代と比べ、平安時代とはどのような時代といえるだろうか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ○律令制度や周辺の事象をもとに、奈良時代と比べ平安時代とはどのような時代かを解釈することができる。 ・平安京への遷都の理由や藤原氏が権力を握り栄えた理由、武士が誕生した背景などの課題に対し、根拠をもとに予想を立てることができる。④ ・資料集の諸資料や文献資料から知識を導くことができる。⑤ ・資料やいくつかの知識から原因・理由・結果・意義などを解釈することができる。⑥ ・奈良時代と比較して、平安時代の特色を表すことができる。⑦ ・学習した出来事や人物や時代が年表のどこに位置付くかを示すことができる。⑧ ・時代解釈や事象解釈を説明することができる。⑨ 	発問への応答 ノートの記述内容 定期考査
		前期末考査		
10月	鎌倉時代 (11H)	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜ、鎌倉時代に新しい仏教が広まっていったのだから？平安時代と比べ、鎌倉時代とはどのような時代といえるだろうか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ○鎌倉時代とはどのような時代かを権力の変遷という観点から解釈することができる。 ・平安時代と比較して、鎌倉時代の特色を表すことができる。⑦ 	発問への応答 ノートの記述内容
11月	室町時代 (11H)	<ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉時代と比べ、室町時代とはどのような時代といえるだろうか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ○鎌倉時代と比較することで、「幕府と朝廷・大名」、「社会・文化」という観点から室町時代の構造を解釈することができる。 ・建武の新政が失敗した理由や足利義満の政治的意図、貨幣が流通した背景などといった課題に対し、根拠をもとに予想を立てることができる。④ ・資料集の諸資料や絵画資料、写真資料、文献資料などから知識 	発問への応答 ノートの記述内容 定期考査
		後期中間考査		

			<p>を導くことができる。⑤</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料やいくつかの知識から原因・理由・結果・意義などを解釈することができる。⑥ 鎌倉時代と比較して、室町時代の特色を表すことができる。 学習した出来事や人物や時代が年表のどこに位置付くかを示すことができる。⑧ 時代解釈や事象解釈を説明することができる。⑨ 	
12月	安土桃山時代 (8H)	<ul style="list-style-type: none"> 室町幕府と豊臣秀吉の政権はどこが違うのだろうか？安土桃山時代とはどのような時代といえるだろうか？ 	<p>○安土桃山時代とはどのような時代かを信長、秀吉、家康の天下統一への過程を視点として解釈することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 織田信長が天皇を超えることができなかつた理由に対し、根拠をもとに予想を立てることができる。④ 資料集の諸資料や文献資料から知識を導くことができる。⑤ 秀吉の全国支配と室町幕府の全国支配の違いを、資料やいくつかの知識から原因・理由・結果・意義などを解釈することができる。⑥ 	<p>発問への応答</p> <p>ノートの記述内容</p>
1月 2月	江戸時代 (22H)	<ul style="list-style-type: none"> なぜ、徳川氏は約260年もの間幕府を維持することができたのだろうか？江戸時代とはどのような時代といえるだろうか？ 	<p>○江戸時代とはどのような時代かを「政治」、「社会」といった観点から解釈することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 江戸幕府が長く維持された理由や、昆布が西日本で多く消費されている理由、江戸幕府崩壊の理由などの課題に対し、根拠をもとに予想を立てることができる。④ 資料集の諸資料や文献資料、現物資料などから知識を導くことができる。⑤ 資料やいくつかの知識から原因・理由・結果・意義などを解釈することができる。⑥ 	<p>発問への応答</p> <p>ノートの記述内容</p>
3月	学年末考査 (3H)		<ul style="list-style-type: none"> 学習した出来事や人物や時代が年表のどこに位置付くかを示すことができる。⑧ 時代解釈や事象解釈を説明することができる。⑨ 	<p>定期考査</p> <p>ノートの記述内容</p>

単元指導計画

単元名	室町時代
-----	------

□単元の目標 鎌倉時代と比較することで、「幕府と朝廷・大名」、「社会・文化」という観点から室町時代の構造を解釈することができる。

□単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ・ 室町時代の歴史事象や資料に関心を持ち、進んで課題に対し予想を立て、考えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題に対し、根拠をもとに予想を立てることができる。 ・ 資料から情報を取り出し知識を導くことができる。 ・ 資料やいくつかの知識から原因・理由・結果・意義などを解釈することができる。 ・ 鎌倉時代と比較して、室町時代の特色を表すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料から情報を取り出し知識を導くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鎌倉時代と比較することで、室町時代の構造を解釈することができる。

□指導と評価の計画（9時間）

次 程	単元のねらい	小単元の主要発問	関	思	技	知	評価規準等
第 1 次 1h	鎌倉幕府の構造と比較し、なぜ建武の新政が失敗に終わったのかを解釈することができる。	<p>MQ なぜ、後醍醐天皇による建武の新政は失敗に終わったのだろうか？</p> <p>鎌倉時代の幕府と朝廷・御家人の関係の把握</p>				○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 皇室系図や建武の新政組織図から情報を取り出し知識を導くことができる。 ・ 資料やいくつかの知識から、建武の新政が行われた理由や失敗した理由などを解釈することができる。
第 2 次 1h	室町幕府が成立した過程を理解することができる。	<p>MQ 室町幕府はどのように成立し、どのような仕組みを整えたのだろうか？</p> <p>室町幕府の成立と構造の理解</p>				○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 室町幕府が成立した過程について理解することができる。

第 3 次 2h	足利義満の肖像画や金閣寺、外交政策などを手がかりに、義満と朝廷との関係を解釈することができる。	<p>MQ なぜ、足利義満は武士らしくない格好をしているのだろうか？</p> <p>MQ なぜ、足利義満は明の臣下となって日明貿易をおこなったのだろうか？</p> <p>義満期の幕府と朝廷・守護大名の関係の把握</p>	○	○		<ul style="list-style-type: none"> 肖像画や課題に対し関心を持ち、根拠をもとに予想を立てることができる。 資料集の諸資料や義満の肖像画、金閣寺の様式などから情報を取り出し知識を導くことができる。 資料やいくつかの知識から義満期の幕府と朝廷・守護大名の関係を解釈することができる。
第 4 次 1h	守護大名の勢力図や嘉吉の乱などから、幕府と守護大名の関係を解釈することができる。	<p>MQ なぜ、守護である赤松氏が将軍を暗殺するような出来事が起こったのだろうか？</p> <p>幕府と守護大名の関係の把握</p>			○	<ul style="list-style-type: none"> 室町時代は守護大名の勢力が強大になり、幕府や将軍を支える一方、それらを脅かす存在となっていたことを理解する。
第 5 次 1h	応仁の乱以降、幕府の構造がどのように変化したのかを解釈することができる。	<p>MQ 応仁の乱は幕府にどのような影響を与えたのだろうか？</p> <p>応仁の乱後の幕府と朝廷・守護大名の関係の把握</p>		○		<ul style="list-style-type: none"> 義満の頃の関係と比較することで、応仁の乱後の幕府と守護大名との関係を解釈することができる。
第 6 次 1h	貨幣の流通を通して室町時代の社会を解釈することができる。	<p>MQ なぜ、室町時代に貨幣が広く流通するようになったのだろうか？</p> <p>室町時代の社会構造の把握</p>	○	○		<ul style="list-style-type: none"> 課題に対し、根拠をもとに予想を立てることができる。 洛中洛外図屏風から情報を取り出し知識を導くことができる。
第 7 次 2h	室町文化の特色を、鎌倉文化と比較することで解釈することができる。	<p>MQ 鎌倉文化と比較して、室町文化はどのような特色があるだろうか？</p> <p>室町時代の文化的特色の把握</p>			○	<ul style="list-style-type: none"> 鎌倉文化と比較して、室町文化の特色を表すことができる。
第 8 次 1h	鎌倉時代と比較することで、室町時代の構造を解釈することができる。	<p>MQ 鎌倉時代と比較して、室町時代はどのような時代といえるだろうか？</p> <p>室町時代の構造の解釈</p>		○		<ul style="list-style-type: none"> 鎌倉時代と比較して、室町時代の特色を表すことができる。

学習指導案

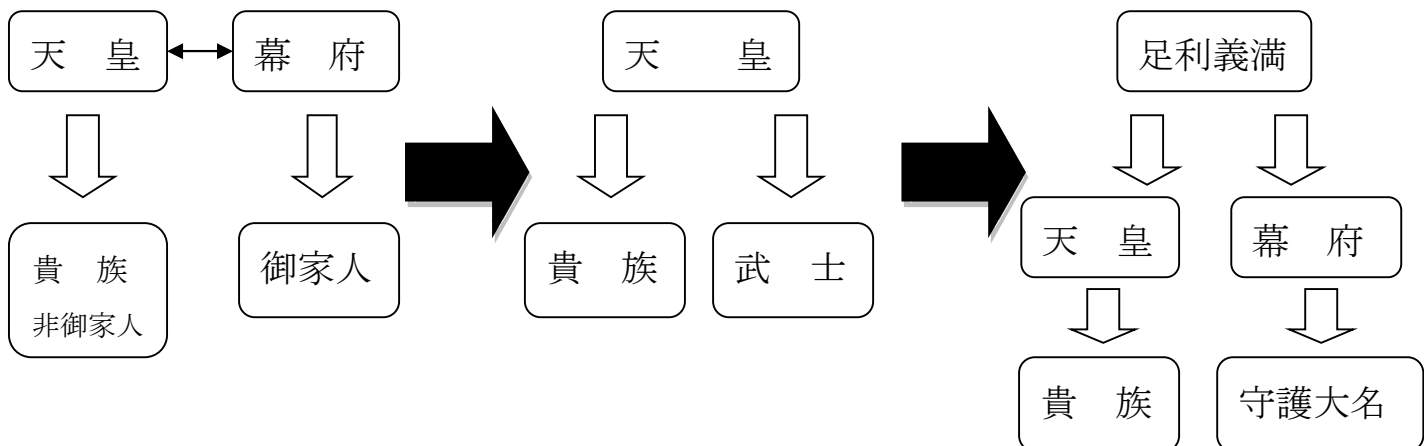
教科（科目）	地歴公民（日本史B）	単元名	室町時代
本時の主題	足利義満の肖像画や金閣寺を手がかりとし、義満の時代の幕府、天皇、大名の関係を解釈することができる。		
本時の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・肖像画や課題に対し関心を持ち、根拠をもって予想を立てることができる。【関・意・態】【思・判・表】 ・資料から、義満が出家した理由や義満の政治的意図を解釈することができる。【思・判・表】 ・鎌倉時代の幕府、朝廷、御家人の関係と比較し、義満の時代の幕府、天皇、大名の関係を解釈することができる。【思・判・表】 		
過程	指導の内容	学習活動・主要発問	指導上の留意点・観点別評価
導入	本時のMQを設定し、予想をたてる	<p>○本時の課題設定。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">Q この肖像画は誰だろう？</div> <ul style="list-style-type: none"> ・足利尊氏、楠木正成、織田信長、武田信玄、徳川家康、足利義満などの肖像画を用いる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">Q それぞれの肖像画を比べ、何か他と違うところはないだろうか？</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">MQ なぜ、足利義満は他の武士と比べ武士らしくない格好をしているのだろうか？</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対し、根拠をもって予想を立てることができる。【関・意・態】【思・判・表】 ・生徒の発言から評価をおこなう。 ・肖像画を用いる。（資料①）
展開1	室町幕府と天皇、大名の関係を理解する	<p>○室町幕府と天皇、大名の関係</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">Q 足利義満はどんなことをおこなった人物だろう？ どのような人物だろう？</div> <ul style="list-style-type: none"> ・足利義満の年表を用いる。（資料③） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">Q 室町幕府の支配に対し、ライバルとなるものはどのような存在だろう？</div> <ul style="list-style-type: none"> ・義満の時代の政治構造を黒板に図示し、そこから義満の置かれた政治状況を解釈させる。（資料②） ・室町幕府の脅威になり得る存在として、天皇・貴族、守護大名の存在があったことを理解する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">Q 足利義満は、武家に対してどのような行動をとり統制しただろう？</div> <ul style="list-style-type: none"> ・足利義満の年表（資料③）を用いてそこから義満がおこなった出来事を読み取らせる。 ・山名氏清や大内義弘などを討伐し、勢力を削減した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">Q 足利義満は、天皇・貴族に対してどのような行動をとり統制しただろう？</div> <ul style="list-style-type: none"> ・足利義満の年表（資料③）を用いてそこから義満がおこなった出来事を読み取らせる。 ・南北朝を合体させ、南朝を北朝に吸収させたことを理解する。 ・征夷大將軍を辞した後、太政大臣に就任し、貴族の頂点に立ったことを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・室町幕府と天皇、大名の関係を理解することができる。 ・生徒の発言や資料への書き込みから評価をおこなう。 ・義満の時代の政治構造を用いる。（資料②） ・足利義満の年表を用いる。（資料③） ・机間巡視をおこなう。

<p>展開 2</p>	<p>足利義満が出家した理由を解釈する</p>	<p>○足利義満の出家の理由</p> <p>Q 資料から、なぜ足利義満は肖像画のような格好をしているのだろうか？</p> <p>・出家後の義満の行動（資料④）を用い、義満が出家をした理由を解釈させる。</p> <p>Q 足利義満はなぜ出家したのだろうか？征夷大將軍や太政大臣の地位と比べ、何が違うのだろうか？</p> <p>Q 足利義満はなぜ出家したのだろうか？</p> <p>・征夷大將軍や太政大臣に就任することで、武家や公家の頂点に立つだけでなく、自らを法皇に見立てることで、天皇権威を超えようとしたことを解釈する。</p>	<p>・資料④から、義満が出家をした理由や、義満の政治意図を解釈することができる。</p> <p>【思・判・表】</p> <p>・生徒の発言や資料の書き込みから評価をおこなう。</p> <p>・出家後の義満の行動を用いる。(資料④)</p> <p>・机間巡視をおこなう。</p>
<p>展開 3</p>	<p>金閣寺の様式から義満の政治的意図を解釈する</p>	<p>○金閣寺にみる足利義満の政治的意図</p> <p>Q 金閣寺はどのような建築物だろうか？詳しく内部を見てみよう。</p> <p>・金閣寺の写真（資料⑤）を用い、金閣寺の様式から義満の政治的意図を解釈することができる。</p> <p>Q 金閣寺から、義満の政治的意図はどのように考えられるだろうか？</p> <p>・金閣寺の様式が一階から寢殿造、書院造、禅宗様となっていることから義満の政治意図が解釈する。</p>	<p>・資料から義満の政治的意図を解釈することができる。</p> <p>【思・判・表】</p> <p>・生徒の発言から評価をおこなう。</p> <p>・金閣寺の写真を用いる。(資料⑤)</p>
<p>まとめ</p>	<p>本時のまとめ</p>	<p>○まとめ</p> <p>MQ なぜ、足利義満は他の武士と比べ武士らしくない格好をしているのだろうか？</p> <p>・足利義満は、征夷大將軍や太政大臣に就任することで、武家や公家の頂点に立つだけでなく、自らを法皇に見立てることで、天皇権威を超えようとしたことを解釈する。</p> <p>・解釈の結果を図示することで、鎌倉時代の政治構造と比較する。</p> <p>○次時の予告</p> <p>Q 本当に、足利義満は天皇を超えようとしたのだろうか？ 次回は足利義満の外交政策から考えていこう。</p>	<p>・鎌倉時代の幕府、朝廷、御家人の関係と比較し、義満の時代の幕府、天皇、大名の関係を解釈することができる。</p> <p>【思・判・表】</p> <p>・ノートに、出家後の足利義満の時代の政治構造を図示させ評価をおこなう。</p>

○鎌倉時代

○建武の新政

○義満の時代

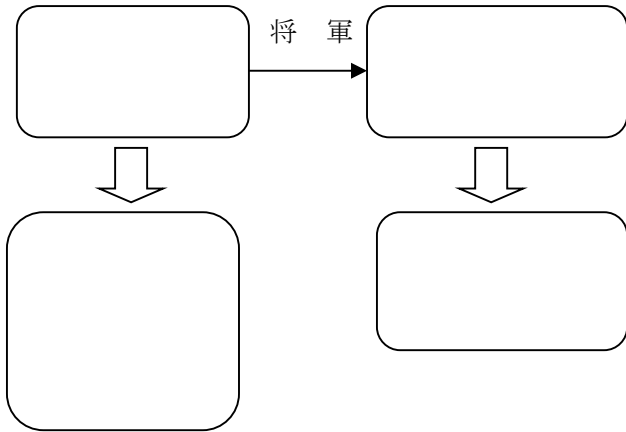


<資料①>

Q

○鎌倉時代の政治構造

キーワード（天皇、幕府、御家人、貴族・非御家人）を下の図に入れてみよう！！



<朝廷と幕府の関係>
全国を支配していたのは・・・

朝廷（天皇）

幕府

朝廷（天皇）と幕府

図1 鎌倉時代の政治構造



<幕府と御家人との関係>

幕府>御家人

幕府<御家人

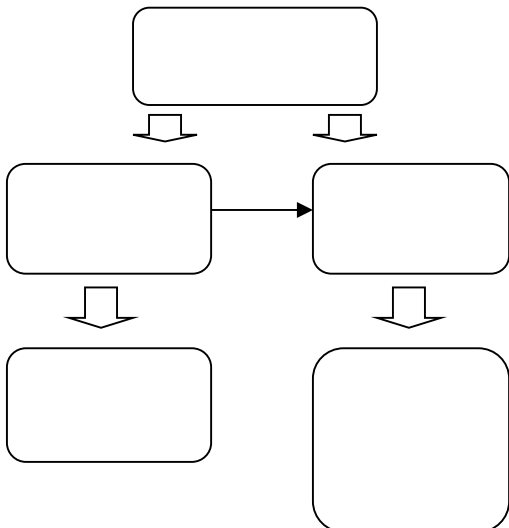
幕府≒御家人

○室町時代の政治構造

キーワード（天皇、貴族、幕府（将軍）、守護大名、足利義満、戦国大名）

を下の図に入れてみよう！！

・足利義満の時代



・応仁の乱以降

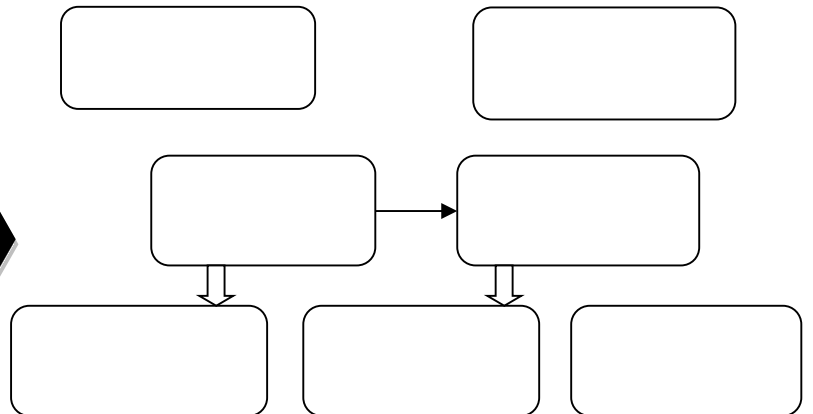


図2 義満時代の政治構造

図3 応仁の乱以降の政治構造

・義満の時代は・・・

<朝廷と幕府の関係>

全国を支配していたのは・・・

朝廷（天皇）

幕府（足利義満）

朝廷（幕府）と幕府



<幕府と守護大名（武士）との関係>

幕府>守護大名

幕府<守護大名

幕府≒守護大名

・応仁の乱以降は・・・

<朝廷と幕府の関係>

全国を支配していたのは・・・

朝廷（天皇）

幕府

いない（各国の守護大名・戦国大名）

<幕府と守護大名・戦国大名との関係>

幕府>守護大名・戦国大名

幕府<守護大名・戦国大名

幕府≒守護大名・戦国大名

○鎌倉時代と室町時代の政治構造を比べ、

室町時代の政治構造を言葉で解釈してみよう！！

キーワード（天皇、貴族、幕府、守護、下剋上、上昇、低下）を空欄に入れてみよう！！

足利義満の時代には、

義満（幕府）は _____ をも上回る力を持つようになった。また、各国で _____ の力が _____ した。その結果、 _____ や _____ の力が低下して、実質的に広く全国は _____ が支配するようになった。

しかし、応仁の乱以降、

幕府の力は _____ し、それにもなって幕府から任命された各国の _____ の力も _____ した。その結果、 _____ の風潮がおこり、 _____ も _____ も広く全国を支配する存在とは実質なりえず、幕府の力をしのぐ武士も現れるようになった。

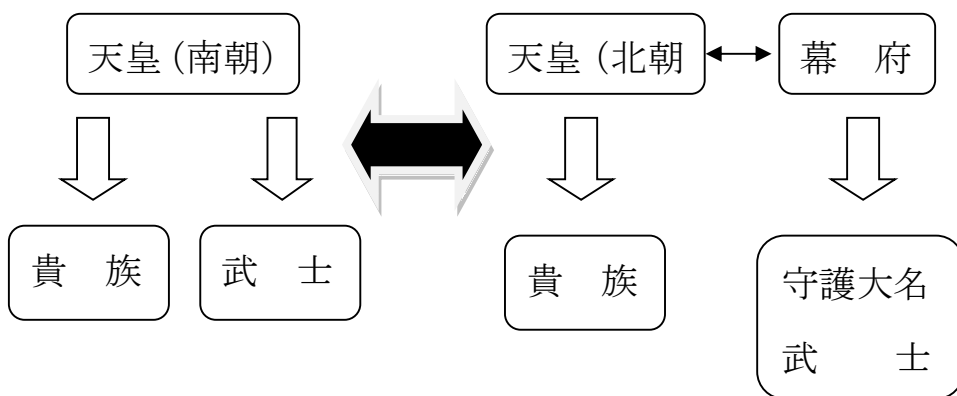
A.

鎌倉時代と比べ、室町時代は _____ が実質的に広く全国を支配した時代である。しかし、幕府（将軍）の力は鎌倉時代と比べると _____ 、室町時代の後期には _____ の風潮が広がり、様々な武士が実力で勢力を拡大させていった時代である。

資料①



資料②



資料③ 足利義満年表

年 月 日	できごと
1358(正平 13/延文 3 年)	足利 2 代将軍義詮の子として生まれる。母は側室の良子。
1361 年(正平 16/康安元)	播磨国白旗城へ一時避難する
1367 年	義詮死去に伴い 10 歳で三代将軍に就任する
1368 年	元服する
1369 年	正式に将軍に就任する
1374 年	日野業子を正室とする。
1378 年	邸宅を北小路室町に移し、幕府の政庁とした→「花の御所」
1390 年	有力守護、土岐康行を討つ。(土岐康行の乱)
1391 年	有力守護、山名氏清を討つ。(明德の乱)
1392 年	南北朝を統一させる
1394 年	将軍職を嫡男の義持に譲り隠居する
1395 年	太政大臣に就任するも、半年で出家する
1397 年	京都北山に舍利殿(金閣)を造営する
1399 年	有力守護、大内義弘を討つ。(応永の乱)
1404 年	勘合貿易を始める
1408 年	急病のため死去する(享年 51 歳)

資料④ 出家後の義満の行動 (参考文献 村井章介『中世世界の内と外』筑摩書房 1999)

① 関白二条良基など上級貴族を家臣化した

→Q そもそも貴族は誰の家臣??

A _____

② 北山第を造り、そこで国家の最高政策を決定する

→Q 国家の最高政策はこれまでどこで決定された??

A _____

③ 朝廷人事の決定権を義満が握る

→Q 貴族の官職を決定するのは誰??

A _____

④ 後小松天皇の母親が死去した際、

義満の妻を准母（天皇の生母ではない女性が母に擬されること。）にした。

→Q 義満の妻が天皇の母親と言うことは、義満は天皇の何になるの??

A _____

⑤ 1399年の相国寺大塔供養などの場に、上皇としての格と待遇で臨んだ

→Q 上皇って誰がなれるの??

A _____

「Q 義満はなぜ出家したの??」

資料⑤



○授業の事後分析

1 授業者による分析

- ・生徒に思考させ、解釈させる場面では比較的スムーズに思考し、解釈することができていたのではないかな。
- ・導入の資料に関して、生徒の興味や関心を引くことができた。肖像画に対しさまざまな観点から発言があり、生徒から事象に対する疑問や予想を引き出すことができた。
- ・終結部の義満の政治意図を解釈場面では、大半の生徒が政治構造を図示することができ、本時の目標をおおむね達成できたのではないかな。
- ・思考・解釈をさせる場面で、もっと生徒の言葉で思考・解釈をさせることができたのではないかな。閉ざされた発問が多かった。
- ・終結部で間違えた生徒をどうフォローするか、今後の授業で考えていきたい。

2 参観者からの講評

- ・もう少し、生徒が言葉を多く用いて答える取り組みをしたらどうか。
- ・終結部で間違えた生徒に対しどのようにフォローするのか。
- ・もっとペアやグループ活動を取り入れたらどうか。チャレンジを！
- ・図示だけでなく、文章で解釈させる場面を設けたらどうか。評価問題の中で文章によって解釈させる問題を設定してはどうか。

3 授業の評価から改善へ

政治構造に関する室町時代の時代解釈を解釈するため、以下のプリント（資料①）を用い授業を実施した（単元計画第8次）。そして、今回の授業に関する部分を分析することで、今後の授業改善への手立てを考えた。

【授業の評価】

- ①義満の時代の政治構造を図示する作業では、29人中27人が図示することができた。残りの2人については、「守護大名」が入る部分が空欄となっていた。このことから、大半の生徒が義満の時代の政治構造を理解していることが分かった。
- ②幕府と朝廷の関係を問うた項目に関しては29人中28人が正解した。このことから、大半の生徒が義満の時代の政治構造を理解していることが分かった。
- ③幕府と守護大名の関係を問うた項目に関しては29人中25人が正解した。この部分は、幕府と朝廷の関係を問うた項目よりも正解者が減ってしまった。その原因を考察すると、単元計画の第4次の部分で義満の時代以降の幕府と守護大名の関係を授業で扱ったため、義満の時代の幕府と守護大名の関係と、その後の幕府と守護大名のの違いが曖昧なまま理解してしまったと考えられる。
- ④義満の時代の室町時代の時代解釈を文章でおこなわせる項目では、29人中20人が正解した。不正解者の4人に関しては、こちらの問い方が曖昧であったため、「守護」と答える部分を「幕府」と答えた生徒であった。この部分については、どちらが入っても文意は通じるものであるため、おおむね理解しているものと考えられる。ただ、残りの5人に関しては何力所か空欄となっているような間違え方をしており、授業に関し理解しているとは考えにくい。
- ⑤義満の時代の政治構造を図示する作業と、その時代解釈を文章でおこなわせる作業の正解者を比較すると、図では解釈を行える生徒が多いが、文章で表現することが苦手な生徒が多いことが分かった。

【授業の評価から改善へ】

- ・①③④から・・・

授業を振り返ると、それぞれの時期における「守護大名」・「幕府」の関係性の変化について、強調して教えていなかった。そのことが、生徒がつまずく原因になったと考えられる。特に、第3次から第4次において「幕府」と「守護大名」の関係性を強調し、時期における関係性の変化を生徒に解釈させる場面を設定したい。

- ・⑤から・・・

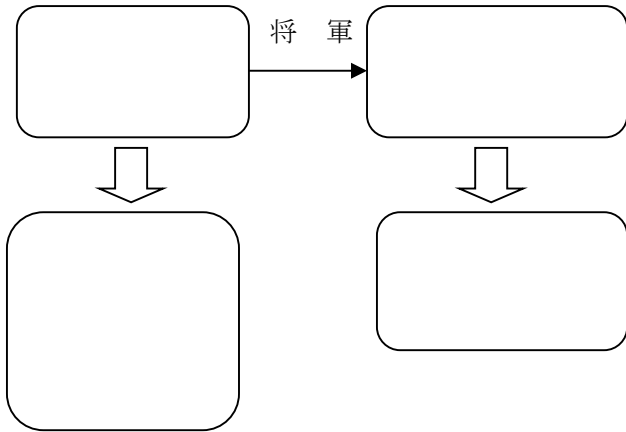
生徒自身によって文章で解釈させる場面が年間を通じてほとんど設定できていなかったため、年間のカリキュラムの中でそのような場面を段階的に設定していきたい。

<資料①>

Q

○鎌倉時代の政治構造

キーワード（天皇、幕府、御家人、貴族・非御家人）を下の図に入れてみよう！！



<朝廷と幕府の関係>
全国を支配していたのは・・・

朝廷（天皇）

幕府

朝廷（天皇）と幕府

図1 鎌倉時代の政治構造



<幕府と御家人との関係>

幕府>御家人

幕府<御家人

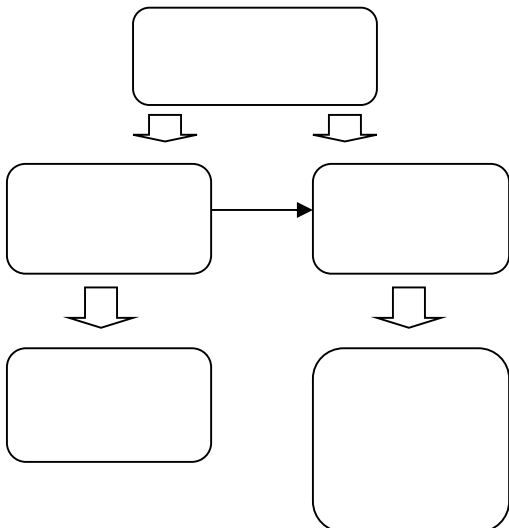
幕府≒御家人

○室町時代の政治構造

キーワード（天皇、貴族、幕府（将軍）、守護大名、足利義満、戦国大名）

を下の図に入れてみよう！！

・足利義満の時代



・応仁の乱以降

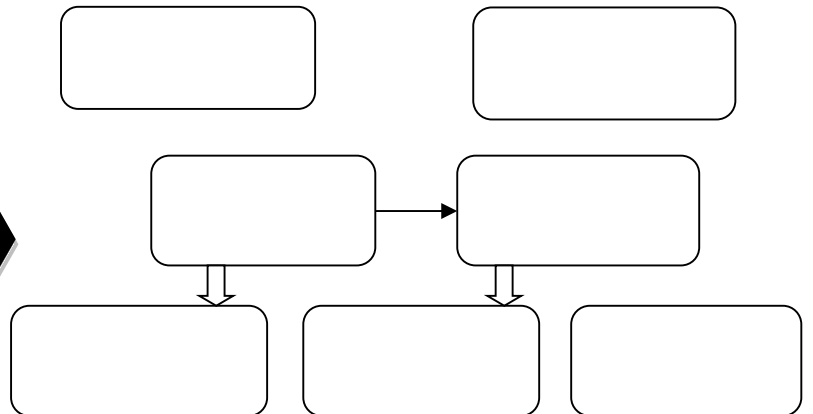


図2 義満時代の政治構造

図3 応仁の乱以降の政治構造

・義満の時代は・・・

<朝廷と幕府の関係>

全国を支配していたのは・・・

朝廷（天皇）

幕府（足利義満）

朝廷（幕府）と幕府



<幕府と守護大名（武士）との関係>

幕府>守護大名

幕府<守護大名

幕府≒守護大名

・応仁の乱以降は・・・

<朝廷と幕府の関係>

全国を支配していたのは・・・

朝廷（天皇）

幕府

いない（各国の守護大名・戦国大名）

<幕府と守護大名・戦国大名との関係>

幕府>守護大名・戦国大名

幕府<守護大名・戦国大名

幕府≒守護大名・戦国大名

○鎌倉時代と室町時代の政治構造を比べ、

室町時代の政治構造を言葉で解釈してみよう！！

キーワード（天皇、貴族、幕府、守護、下剋上、上昇、低下）を空欄に入れてみよう！！

足利義満の時代には、

義満（幕府）は _____ をも上回る力を持つようになった。また、各国で _____ の力が _____ した。その結果、 _____ や _____ の力が低下して、実質的に広く全国は _____ が支配するようになった。

しかし、応仁の乱以降、

幕府の力は _____ し、それにもなって幕府から任命された各国の _____ の力も _____ した。その結果、 _____ の風潮がおこり、 _____ も _____ も広く全国を支配する存在とは実質なりえず、幕府の力をしのぐ武士も現れるようになった。

A.

鎌倉時代と比べ、室町時代は _____ が実質的に広く全国を支配した時代である。しかし、幕府（将軍）の力は鎌倉時代と比べると _____ 、室町時代の後期には _____ の風潮が広がり、様々な武士が実力で勢力を拡大させていった時代である。

○評価問題例

【1】次の文章を読んで、あとの問いに答えてください。

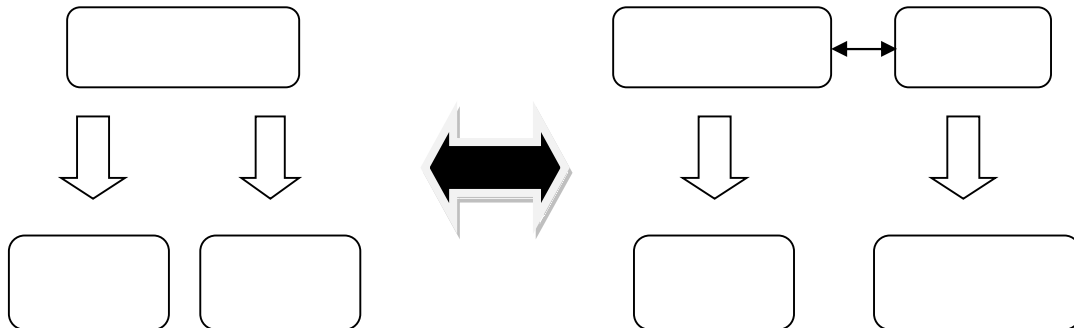
約60年にもおよんだ動乱は1392年、①3代将軍（①）の調停によって終息した。すでに（①）は、京都室町に通称「花の御所」とよばれる壮麗な邸宅を築いて政治をおこなっており、幕府の機構も整備され②さまざまな施策が実施された。

（①）は1394年、征夷大將軍として初めて朝廷から（②）に任じられ、翌年③出家したのちも権力をふるった。

問1 文章中の（①）（②）に入る語句を語群から選んで答えなさい。

足利義政 足利義満 関白 太政大臣

問2 下線部①について、下の図は下線部①の人物が将軍に就任した当時の政治構造を示した図である。（ ）に入る語を語群から選んで答えなさい。（ただし、語群の語句は何度使用してもよい）



幕府 天皇（南朝） 貴族 天皇（北朝） 守護大名・武士 武士

問3 下線部②について、（①）の人物は武家を統制する施策をいくつか行った。次の施策の中で、武家の統制と考えられるものは何か2つ答えなさい。

明德の乱 京都市中の債務に関する裁判権 五山・十刹の制 応永の乱 応仁の乱

問4 下線部③について、(①)の人物が出家をした理由は、「**出家により自分を法皇に見立てることで、天皇の権威を超えようとしたから**」であったと解釈されている。では、「**出家により自分を法皇に見立てることで、天皇の権威を超えようとしたから**」という解釈を説明するために用いることができる歴史的知識は、次の選択肢のうちのどれが適切か。ア～カの中から適切だと思われるものを3つ選んで答えなさい。

ア 日明貿易をおこない、明の皇帝から「日本国王」の称号を得た。

イ 康暦の政変で管領の細川頼之を罷免した。

ウ 東大寺・興福寺を参詣した。

エ 後小松天皇の母親が死去した際、義満の妻を准母にした。

オ 相国寺大塔供養などの場に、上皇としての格と待遇で臨んだ。

カ 御遊船、作文始、歌会始などを大々的に再興した。